

序

若手医師の立場から

『ひとりで学べるリアル漢方』を手にとっていただき、ありがとうございます。

卒後8年目で編者をさせていただいたとは、いまだに夢のようです。樫尾先生から「若手医療者向けの漢方の書籍に、若手医療者としてかかわってみませんか」とお声がけいただきました。同世代の若手医療者にとって、どうしたらわかりやすく、読んだその日から目の前の患者さんに活かせる学びが得られるのか。それを常に考え、試行錯誤を重ねました。一見難解な漢方の世界は、じつは学べば学ぶほどたくさんの魅力と可能性に出会えます。本書を通じて皆様に少しでもその感動が伝わりますようお願いしています。

本書には、付録を収録しています。特に付録3は、九州の学生が作成し、池田先生や私が学生時代いつも手元に置き学んでいた資料を参考にさせていただきました。当資料を監修いただいた成田響太先生（真央クリニック附属鍼灸室／長湯鍼灸院）およびイラスト提供を賜りました中野侑子先生（ゆう鍼灸院）、作成にかかわったすべての当時／現役学生の皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

2026年8月

蜂木麻璃奈

今回、“若手の立場”として書籍を企画してみませんかと樫尾先生にお声がけをいただき、僥倖ながら本書の編集に携わらせていただきました。改めて自分自身が東洋医学を学びはじめたきっかけや、（学生時代は本分の西洋医学の勉強より一時は夢中だった?!）東洋医学研究部での活動、数々の先生方との出会いを深く思い起こしながらの作業でした。そうすることが本書の制作意図に幾らかでも叶い、手に取ってくださる同世代の方々に届くのではないかと感じたからです。

日々の診療の中で「この方には漢方薬や鍼灸治療がフィットするのでは…?」と気が向いたときこそ、学びを深める絶好のチャンスになり得ます。東洋医学の実践は、AIが進歩する時代においても、目の前の患者さんや身近な人の心身に寄り添い、心の通った温かい診療を支えることにつながります。

多忙な毎日に何から読んでみようかと思われたとき、ぜひお手にとってみてください。一人での学習は簡単ではないかもしれませんが、本書が皆さんの日々に寄り添い、心強い一冊になることを期待します。

2026年8月

池田直子